

2020 年度 事業報告

全国科学館連携協議会（連携協）は、地域における科学技術普及の拠点である科学館等の連携促進を図り、科学館事業の振興に寄与することを目的として設立され、各種連携活動を展開しています。

2020 年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策を講じた活動としたため、事業内容の変更がありました。主な実施事業を以下に示します。

1. 協議会運営

1-1. 2020 年度加盟会員数

190 館（2021 年 3 月 31 日現在）

内訳：正会員 171、協力会員 16、協賛会員 3

[新規加盟]（1 団体）

（協力会員）

- ・ネスレ日本株式会社

[退会]（8 団体）

（正会員）

- ・東京ガス株式会社 がすてなーに ガスの科学館
- ・小さな理科館
- ・室蘭市青少年科学館
- ・浅間火山博物館

（協力会員）

- ・ジャパン GEMS センター
- ・レゴ エデュケーション
- ・北海道ニセコ町

（協賛会員）

- ・住友化学株式会社

1-2. 会議の開催

(1) 第 30 回全国科学館連携協議会幹事会

2020 年 7 月 22 日（水）にオンライン形式で行い、次の事項を確認しました。

（出席：会長 1 名、副会長 2 名、監事 2 名、ブロック幹事 10 名、事務局長 1 名、事務局 3 名）

[議事]

- ・2020 年度役員について
- ・2019 年度事業報告(案)および決算報告(案)について
- ・連携協ホームページのリニューアルについて (案)

・2020年度事業計画(案)および予算計画(案)について

(2) 第29回全国科学館連携協議会総会

2020年5月21日(木)に全加盟館一斉メールにて、幹事会にて確認した事項について書面決議いたしました。

1-3. 連携協ホームページのリニューアル

2020年度の総会で承認された連携協ホームページのリニューアルについて、ホームページの閲覧性向上のため、全面的なリニューアルを行い公開しました。より身近で視認性の高いページとなるよう、加盟館から提出された事業報告書等からの画像を掲載しました。

2. 加盟館連携推進

2-1. 巡回展示物等貸与支援

加盟館を対象に、下記24種類の巡回展示物および5種類の実験キットの募集を行い、2020年4月～2021年3月の期間で調整・貸出を行いました。

[巡回展]

- ・ **【新規】** 環境DNA博士と、水辺の生き物を調査せよ！ (1館) ※データ提供含む
- ・ 新しい感染症との向き合い方『わかんないよね 新型コロナ』 (56館) ※データ提供
- ・ 海と生きものとわたしたち ～3.11からの復興をめざして～ (15館) ※データ提供含む
- ・ アポロ11号から50年 人はなぜ、宇宙をめざすのか (2館) ※データ提供
- ・ 急変する北極が世界にもたらす影響と日本の北極研究の取組み—Our activity in the Arctic— (6館) ※データ提供
- ・ こちら「はやぶさ2」運用室 漫画版 (20館) ※データ提供含む
- ・ 金星探査機「あかつき」 (8館) ※データ提供含む
- ・ いのちってなに？ (4館) ※データ提供含む
- ・ 星座展～ギリシャ神話からキトラ古墳まで～ (10館)
- ・ ケミカルパズル&ケミカルすごろく—化学物質と上手につきあおう— (6館)
- ・ 潜水調査船がみた深海生物 (5館)
- ・ 星の衝突で、何ができた？ (3館) ※データ提供
- ・ 「錯視」で生活に潤いを (4館)
- ・ SDGs (持続可能な開発目標)クイズボード (5館)
- ・ 日本の宇宙科学の歴史 (2017年改訂) (5館)
- ・ Lesson#3.11 学びとる教訓とは何か (1館) ※データ提供
- ・ 62の「月」が織りなす多彩な世界—土星探査機「カッシーニ」が見た リングと衛星群— (1館) ※データ提供
- ・ 2014年ノーベル賞 (3館) ※データ提供
- ・ 2015年ノーベル賞 (2館) ※データ提供

- ・ 2016年ノーベル賞 (2館) ※データ提供
 - ・ 2017年ノーベル賞 (2館) ※データ提供
 - ・ 2018年ノーベル賞 (2館) ※データ提供
 - ・ 2019年ノーベル賞 (3館) ※データ提供
- 延べ166館 (内6件は新型コロナウイルス感染防止のため中止)

[実験キット]

- ・ 実験キット「マッスル・センサー」 (1館)
 - ・ 実験キット「超伝導」 (3館)
- 延べ4館 (内2件は新型コロナウイルス感染防止のため中止)

2-2. 事業への後援

加盟館および関係機関が実施する事業で、連携協の設立趣旨に合致する事業に対し、後援や協力および会長メッセージ送付を行いました。

[後援] (4件)

- ・ 青少年のための科学の祭典2020 主催：公益財団法人日本科学技術振興財団
- ・ 千葉県科学フェスタ2020 主催：千葉県科学館
- ・ 静岡科学館企画展「となりの恐竜展」 主催：静岡科学館
- ・ 第62回科学技術映像祭 主催：公益財団法人日本科学技術振興財団

[協力] (3件)

- ・ 「NHKサイエンススタジアム2020with新しい日常」イベント
- ・ 「NHKEテレ『すごい宿題』×科学館 ウィズコロナ特別企画『きみだけのひみつ』」イベント
- ・ 日本科学未来館「かるたでよみとく わたしと世界のつながり」展示

[メッセージ] (3件)

- ・ TDK 歴史みらい館来館者10万人達成メッセージ
- ・ 千葉県科学フェスタ10周年記念のメッセージビデオ
- ・ 福岡市科学館入館者300万人達成のお祝いメッセージ

2-3. ブロック会議の実施

ブロック会議開催にあたっては感染拡大防止の観点をもまえ、8ブロック幹事と開催方法の相談および助成支援を行って実施しました。

- ・ 北海道ブロック会議
開催方法：書面開催 (アンケートおよびメーリングリストによる意見交換)
参加：14館
- ・ 東北ブロック会議
開催方法：書面開催 (アンケート集約共有)
参加：17館

- ・北信越ブロック会議
開催日時：2021年2月3日（水）14:00～15:30
開催方法：オンライン会議
参加：13館22名
- ・関東ブロック会議
開催方法：書面開催（アンケート集約共有）
参加：35館
- ・東海ブロック会議
開催日時：2021年2月17日（水）13:00～16:00
開催方法：オンライン会議
参加：16館
- ・近畿ブロック会議
開催日時：2021年1月26日（火）13:00～15:30
開催方法：オンライン会議
参加：6館14名
- ・中四国ブロック会議
開催日時：2020年12月10日（木）12:50～16:30
開催方法：オンライン会議
参加：6館17名
- ・九州ブロック会議
開催日時：2020年10月30日（金）13:30～16:30
開催方法：オンライン会議
参加：10館

2-4. 国内科学館研修

加盟館に共通する課題や活動成果について発表および協議し、加盟館の活動の一層の充実を図るため、国内科学館研修を実施しました。2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンライン開催としました。また第2回国内科学館研修については、加盟館スタッフ向けに動画をYouTubeに限定公開しました。

① 第1回国内科学館研修

開催日時：2020年10月13日（火）13:00～15:00

開催方法：オンライン会議

参加者：約100名

テーマ：「コロナ禍における科学館活動アイデアの共有」

主な内容：3カテゴリ事前公募による発表

カテゴリ A) 感染対策のアイデア

- ・事例発表：仙台市科学館「仙台市科学館近接センサースイッチ工事について」
- ・事例発表：はまぎん こども宇宙科学館「安心して来館者に来館できる様々な対策の紹介」
- ・事例発表：日本科学未来館「新型コロナウイルス感染予防への取り組み」

- ・事例発表：静岡科学館「静岡科学館におけるコロナ禍での活動紹介」
- ・事例発表：バンドー神戸青少年科学館
「AR アプリを活用した展示巡回企画「スマホでスタンプラリー」の報告と課題」
- カテゴリ B) オンライン等を活用したプログラムの開発
 - ・事例発表：盛岡市子ども科学館「SNS を活用した大学との連携による実験工作教室」
 - ・事例発表：明石市立天文科学館「オンラインを利用した特別展のギャラリートーク」
 - ・事例発表：名古屋市科学館
「名古屋市科学館のオンライン活用事例～YouTube と Zoom の活用～」
 - ・事例発表：福岡市科学館「オンラインクラブ活動、オンライン講演会の活動報告」
 - ・事例発表：ひだ宇宙科学館カミオカラボ「オンラインで行った取り組みと得られた効果」
 - ・事例発表：日立シビックセンター科学館
「オンラインを利用した科学館同士の連携企画の報告」
- カテゴリ C) その他
 - ・事例発表：sakumo 佐久市子ども未来館
「コロナ禍特別企画展『こども達で新しい生活様式をつくっちゃおう！展』」

② 第2回国内科学館研修

開催日時：2021年1月20日（水）12:50～15:00

開催方法：オンライン会議

参加者：約80名

テーマ：「オンライン配信時代に押さえるべき著作権等の必須知識」

主な内容：福井健策弁護士（骨董通り法律事務所）を迎えてオンライン講義と質疑応答を実施しました。

※事前に募った具体的な質問を講師に伝えて講義内容に反映しました。

研修動画限定公開 URL：加盟館限定公開

2021年5月時点：250回視聴

2-5. 海外科学館研修

国際交流による加盟館の活動の充実や、職員のスキルアップ、及び科学館間のネットワーク構築を図ることを目的とした海外科学館視察研修については、新型コロナウイルス感染症の状況から海外渡航を伴う視察は中止とし、オンライン形式での試行開催としました。クエスタコンの協力をえて、研修の運営は実績のある外部企業に委託して日本語通訳を介したオンライン展示ツアーを開催しました。また、研修動画を加盟館スタッフ向けにYouTube に限定公開しました。

開催日時：2021年3月18日（木）14:15～16:30

協力：クエスタコン（キャンベラ・オーストラリア）

参加者：約120名

研修動画限定公開 URL：加盟館限定公開

2021年5月時点：115回視聴

2-6. 相互人材交流事業

各加盟館がもつノウハウやスキルを相互に学び合い、人材交流をきっかけに実施館同士が継続的かつ

自発的な交流を図ることをねらいとして、希望館と事務局が調整を行う、短期人材交流の実施を検討いたしました。2020年度においては、新型コロナウイルス感染症の状況をふまえ、9月末に加盟館にメールで実施を見送ることを連絡しました。

3. 協賛事業

3-1. 協賛物品等

加盟館に対して募集を実施し、下記企業より物品提供を行いました。

2020年度は提供前に、感染拡大防止のための一時閉館やイベント実施変更に伴う希望数の見直しを行い、希望数を修正して提供しました。

- ・マブチモーター株式会社（モーター）：41館 6,970個提供

3-2. 白川英樹博士特別実験教室全国展開事業

白川英樹博士と日本科学未来館が共同で開発した導電性プラスチックに関するオリジナル実験教室について、2テーマの実施館を募集し、下記の通り決定していましたが、新型コロナウイルス感染症の状況をふまえ、次年度へ延期することとしました。なお、それぞれ株式会社クレハ、旭化成株式会社の協賛を得て実施する予定となっていました。

- ・「導電性プラスチックを作ろう！透明フィルムスピーカーへの応用」
実 施 館：体験型子ども科学館 O-Lab（大分県大分市）
協 賛 会 社：株式会社クレハ
- ・「導電性プラスチックを作ろう！二次電池への応用」
実 施 館：京都市青少年科学センター（京都府京都市）
協 賛 会 社：旭化成株式会社

以 上